



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会
城南区社協事務所（城南区社会福祉協議会）
 福岡市城南区鳥飼 5-2-25 城南保健所 1階
TEL:092-832-6427 FAX:092-832-6428
Eメール:jounanku@fukuoka-shakyo.or.jp

福岡市社会福祉協議会
 マスコットキャラクター
 ここと

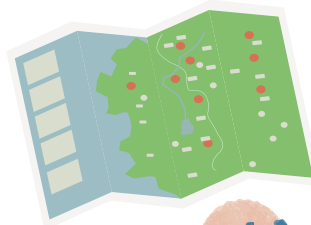


ふれあいネットワーク 活動充実に向けて

～「見守りマップ」で情報共有～

校区社会福祉協議会(以下「校区社協」)では、ふれあいネットワーク活動(※1)が行われていますが、見守りの情報共有手段として見守りマップ(※2)を活用し、活動の充実につなげています。

令和3年度は田島・別府・片江校区が見守りマップを作成しました。今回は、田島校区の取組みを中心に紹介します。



田島校区では、20自治会を5日間の日程に分け、延べ73人の支援者が参加し、自治会長、防災委員、民生委員、見守りボランティアの自宅と災害時に支援が必要な人や被害の想定箇所を地図上に印を付け、情報交換を行いました。参加者からは「支援活動には、地域の状況を事前知っておくことが大切だと感じた」という声があがりました。校区社協の宮野みはる会長は「継続してマップ作成を行い、見守り活動の充実を図りたい」と今後の抱負を述べました。

◀(田島校区)



- ※1 町内ごとに行われる、気になる人への見守り活動
- ※2 地図上に見守りが必要な人やその支援者を記載して、視覚的に見守り体制を確認し、日常から災害時までの見守り活動の充実につなげるもの。

地区別に分かれて見守りマップを作成中(別府校区)▶



【見守りマップで見えてくること】

- 支援者と対象者の位置関係について情報共有ができる。
- 災害時の安否確認の声かけや、支援者交替時の引継ぎに活用できる。
- ボランティアや見守り対象者が変わってもマップ作成を継続することで、その変化に対応しやすくなる。



見守り対象者の状況を共有する参加者(片江校区) ▶

別府校区



▲ボランティアの話に聞き入る親子

シリーズ

地域の子育て応援活動

第1弾

お話会で、リラックス、ほっとする場

— 20周年の「そらいる文庫」 — (別府公民館)

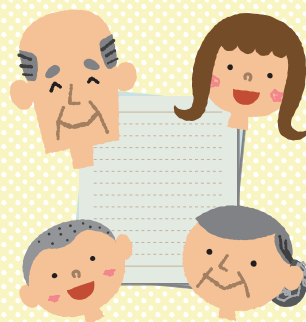
幼児から児童を対象にした活動は、遊びやものづくり、読み聞かせ、サロン等数多くありますが、別府校区では、シニアから幼児まで本を楽しみながら参加者同士で交流できる場として「そらいる文庫」(スタッフ18人)が活動しています。代表の森山朋子さんは「赤ちゃんのときに来ていた子が中学生になり、私たちに会いに来てくれます」と継続性のある文庫活動の喜びを語りました。

城南校区

はなれてもつながる“なじみの関係”

— 小学生が高齢者にお便り —

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子や孫と離れて生活している人、病院や施設で生活している人などは家族にも会えない我慢の日が続いています。このような中、令和3年10月に、城南小学校が創立50周年を迎えたことを機に、登下校などでお世話になった高齢者に小学生が感謝を込めて手紙を書き、民生委員が届けました。校区社協の中村博子会長は「この手紙には、コロナ禍で人に会えない、外に出られない状況が徐々に解消され、地域で交流できる機会も再開しつつある中、お元気でお過ごしいただきたいとの気持ちが込められています。この活動で住民の気持ちが和み、なじみの関係がより深まることを期待しています」と話されました。



賛助会費

～賛助会員の皆様ありがとうございました～

令和3年度に福岡市社会福祉協議会城南区社協事務所賛助会員にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

個人
42件 46,000円

法人・団体
7件 70,000円

賛助会員を募集しています

個人
1口
500円

法人・団体
1口
10,000円

